

地籍基本調査成果電子納品要領

平成 25 年 4 月

国土交通省 土地・建設産業局地籍整備課

[改定履歴]

要領・基準名称	適用要領基準 ※1	備 考
地籍基本調査成果電子納品要領（案） 平成 22 年 11 月	都市 201011-01 山村 201011-01	平成 22 年 11 月初版発行
地籍基本調査成果電子納品要領 平成 25 年 4 月	都市 201304-01 山村 201304-01	平成 25 年 3 月初版発行
〃	〃	平成 25 年 3 月 DTD バージョン番号変更 ・測量情報管理ファイル TSUR_D01.DTD ・地籍基本調査成果管理ファイル TISK_D01.DTD

※1 測量情報管理項目の基礎情報「適用要領基準」項目に記入する内容

— 目次 —

1	適用	1
2	成果品の電子化と検定	2
2.1	成果品の電子化	2
2.2	電子納品成果の検定	2
3	電子媒体	3
3.1	電子媒体について	3
3.2	電子媒体に貼るラベルについて	3
4	フォルダ構成	4
4.1	全体構成	4
4.2	地籍基本調査フォルダ構成	7
5	成果品の管理項目	12
5.1	測量情報管理項目	12
5.2	地籍基本調査成果管理項目	17
6	ファイル形式及びファイル命名規則	19
6.1	ファイル形式	19
6.2	地籍基本調査成果ファイル命名規則	20
6.3	地籍基本調査成果ファイル	23
7	その他留意事項	35
7.1	電子納品の対象外となる成果等	35
7.2	測地系	35
付属資料 1		36
1-1	測量情報管理ファイルの DTD 例	36
1-2	地籍基本調査成果管理ファイルの DTD 例	38
付属資料 2		39
2-1	測量情報管理ファイルの XML 例	39
2-2	地籍基本調査成果管理ファイルの XML 例	41
付属資料 3		43
3-1	地籍基本調査成果簿出力フォーマット	43

1 適用

「地籍基本調査成果電子納品要領」（以下「本要領」という）は、国土調査法（昭和二十六年六月一日法律第百八十号。以下「法」という。）に基づく都市部官民境界基本調査及び山村境界基本調査（以下「地籍基本調査」という。）において作成される成果品を電子的手段により引き渡す場合に適用する。

【解説】

本要領は、地籍基本調査の成果等を電子納品する際の標準的な仕様を定めるものである。

本要領に定めない事項については、「土木設計業務等の電子納品要領(案)平成 20 年 5 月」及び「測量成果電子納品要領(案)平成 20 年 12 月」に従うこと。ただし、左記要領（案）が改定された際は、最新の要領（案）に従うこと。

地籍基本調査において、TE 及び YE 工程は現地調査、TC 工程は都市部官民境界基本三角測量、YC 工程は山村境界基本三角測量、TD 工程は都市部官民境界基本多角測量、YD 工程は山村境界基本多角測量、TF1 工程は都市部官民境界基本細部測量、YF1 工程は山村境界基本細部測量、TL 工程は街区点測量、TR 工程は復元測量、TF2 工程は都市部官民境界基本調査図原図及び都市部官民境界基本調査簿の作成、YF2 工程は山村境界基本調査点測量（山村境界基本調査補助点の測量を含む。以下同じ。）・山村境界基本調査図原図及び山村境界基本調査簿の作成を指すものとする。

2 成果品の電子化と検定

2.1 成果品の電子化

電子納品する地籍基本調査成果については、国土地理院に測量成果の検定機関として登録されている第三者機関（以下「第三者機関」という。）による成果検定終了後の成果品（検符・押印済み）を電子化し、格納するものとする。

【解説】

地籍基本調査成果の電子納品は、受注者が成果品を紙出力し、自己点検を鉛筆（黒色）、自社点検をペン（赤色）で行い、第三者機関による成果検定をペン（茶色）で行った成果品を表 6-3 に従い電子化し、検符を要さない成果品（選点手簿、成果簿数値データ、網図等）も、表 6-3 に従い格納するものとする。また、押印（監督員承認印、主任技術者印等）を要する成果品（選点図、平均図、精度管理表等）については、押印された成果品を表 6-3 に従い電子化し、格納するものとする。

2.2 電子納品成果の検定

電子化された地籍基本調査成果品は、第三者機関による検定を受けるものとする。

3 電子媒体

3.1 電子媒体について

電子媒体は、CD-R 又は DVD-R とし、1 枚に格納することを標準とする。
ただし、発注者と協議の上、Blu-ray Disc も納品できるものとする。

3.2 電子媒体に貼るラベルについて

成果品の電子納品時における使用媒体に用いるラベルについては、以下の各項目に従うものとする。

(1) 媒体のラベルには、以下のような情報を明記する。

- 1) 業務名称
- 2) 作成年月
- 3) 発注者名
- 4) 受注者名
- 5) 何枚目/総枚数
- 6) ウィルスチェックに関する情報
 - ・受注者は、納品すべき成果品が完成した時点で、ウィルスチェックを行う。
 - ・ウィルス対策ソフトは特に指定はしないが、信頼性の高いものを利用する。
 - ・最新のウィルスも検出できるように、ウィルス対策ソフトは常に最新のデータに更新（アップデート）したものを利用する。
 - ・電子媒体の表面には、「使用したウィルス対策ソフト名」、「ウィルス（パターンファイル）定義年月日またはパターンファイル名」、「チェック年月日（西暦表示）」を明記する。

(2) 媒体を入れるプラスチックケースのラベルの背表紙には、以下のような情報を横書きで明記する。

- 1) 業務名称
- 2) 作成年月



4 フォルダ構成

4.1 全体構成

電子的手段により引き渡される地籍基本調査の成果品は「図 4-1 フォルダ全体構成図」に示すフォルダ構成とする。

測量成果を格納する「SURVEY」フォルダの下に「TISEKI」、「DOC」のサブフォルダと、測量情報管理ファイルを格納する。管理ファイルを規定する DTD も合わせて格納する。

「TISEKI」サブフォルダの下には、「測量記録」、「測量成果」、「その他」を格納するため「WORK」、「DATA」、「OTHRs」のサブフォルダを置く。また地籍基本調査の成果等及び、地籍基本調査成果管理ファイルを格納し、管理ファイルを規定する DTD も合わせて格納する。

【留意事項】

- ① フォルダ名称は、半角英数大文字とする。
- ② 格納する電子データファイルがないフォルダは作成しなくてもよい。
- ③ 管理ファイルのスタイルシートは任意とするが、作成する場合は XSL に準じる。

【解説】

(1) 電子媒体ルートフォルダ

1) 業務管理ファイル

電子媒体ルートフォルダに格納する「業務管理ファイル」は「業務管理項目」（業務の属性を表すデータ）を XML 文書で記述したファイルであり、ファイル名称を半角英数大文字で「INDEX_D.XML」とする。

「業務管理項目」の詳細は、「土木設計業務等の電子納品要領(案)平成 20 年 5 月」に示すとおりである。業務管理ファイルを規定する DTD「TIND_Dnn.DTD」及び XSL「TIND_Dnn.XSL」(nn は版情報を表す)も合わせて格納する。ただし、XSL ファイルの格納は任意とする。版情報は、「土木設計業務等の電子納品要領（案）平成 20 年 5 月」に従うものとする。

(2) SURVEY フォルダ（測量データフォルダ）

1) 測量情報管理ファイル

「SURVEY」フォルダに格納する「測量情報管理ファイル」は、「測量情報管理項目」（測量情報の属性を表すデータ）を XML 文書で記述したファイルであり、ファイル名称を半角英数大文字で「SURVEY.XML」とする。測量情報管理ファイルを規定する DTD「TSUR_Dnn.DTD」及び XSL「TSUR_Dnn.XSL」(nn は版情報を表す)も合わせて格納する。ただし、XSL ファイルの格納は任意とする。

「測量情報管理項目」の詳細は、「5.1 測量情報管理項目」に示すとおりである。

(3) TISEKI サブフォルダ（地籍基本調査サブフォルダ）

1) 地籍基本調査成果管理ファイル

「TISEKI」フォルダに格納する「地籍基本調査成果管理ファイル」は、「地籍基本調査成果管理項目」（地籍基本調査成果の属性を表すデータ）を XML 文書で記述し

たファイルであり、ファイル名称を半角英数大文字で「SURV_TSK.XML」とする。測量情報管理ファイルを規定する DTD「TISK_Dnn.DTD」及び XSL「TISK_Dnn.XSL」(nn は版情報を表す)も合わせて格納する。ただし、XSL ファイルの格納は任意とする。「地籍基本調査成果管理項目」の詳細は、「5.2 地籍基本調査成果管理項目」に示すとおりである。

2) 測量記録サブフォルダ (WORK)

地籍基本調査の作業工程で成果品を作成する過程の記録を格納する。本フォルダ以下には実施した作業工程に応じて、測量細区分を示すサブフォルダを置く。サブフォルダ構成は図 4-2 及び図 4-3 の地籍基本調査フォルダに記す。

3) 測量成果サブフォルダ (DATA)

地籍基本調査の作業工程の最終成果品（次の工程に引き渡すもの）を格納する。本フォルダ以下には実施した作業工程に応じて、測量細区分を示すサブフォルダを置く。サブフォルダ構成は図 4-2 及び図 4-3 の地籍基本調査フォルダに記す。

4) その他データサブフォルダ (OTHR)

地籍基本調査における各種証明書、説明書等を格納する。

(4) DOC サブフォルダ (ドキュメントサブフォルダ)

「DOC」サブフォルダには、「ドキュメントファイル」を格納する。表 4-1 に示す当該測量作業のドキュメントを、「DOC」サブフォルダ直下に格納する。「DOC」サブフォルダは、細分しない。

これらのファイル保存形式及びファイル名称は表 4-1 に従うものとする。

表 4-1 DOC サブフォルダ内の成果

納品物の名称	ファイル形式	ファイル名称	備 考
特記仕様書	PDF	SPECS	受発注者間等の協議によりオリジナルファイルも可とする。
協議書	PDF	MEETS	複数協議書ファイルが存在する場合、連番（3 桁）をファイル名称の後に付加する。

例えば協議書が 10 回分ある場合、ファイル名称は「MEETS001.PDF、MEETS002.PDF、MEETS003.PDF・・・MEETS010.PDF」となる。

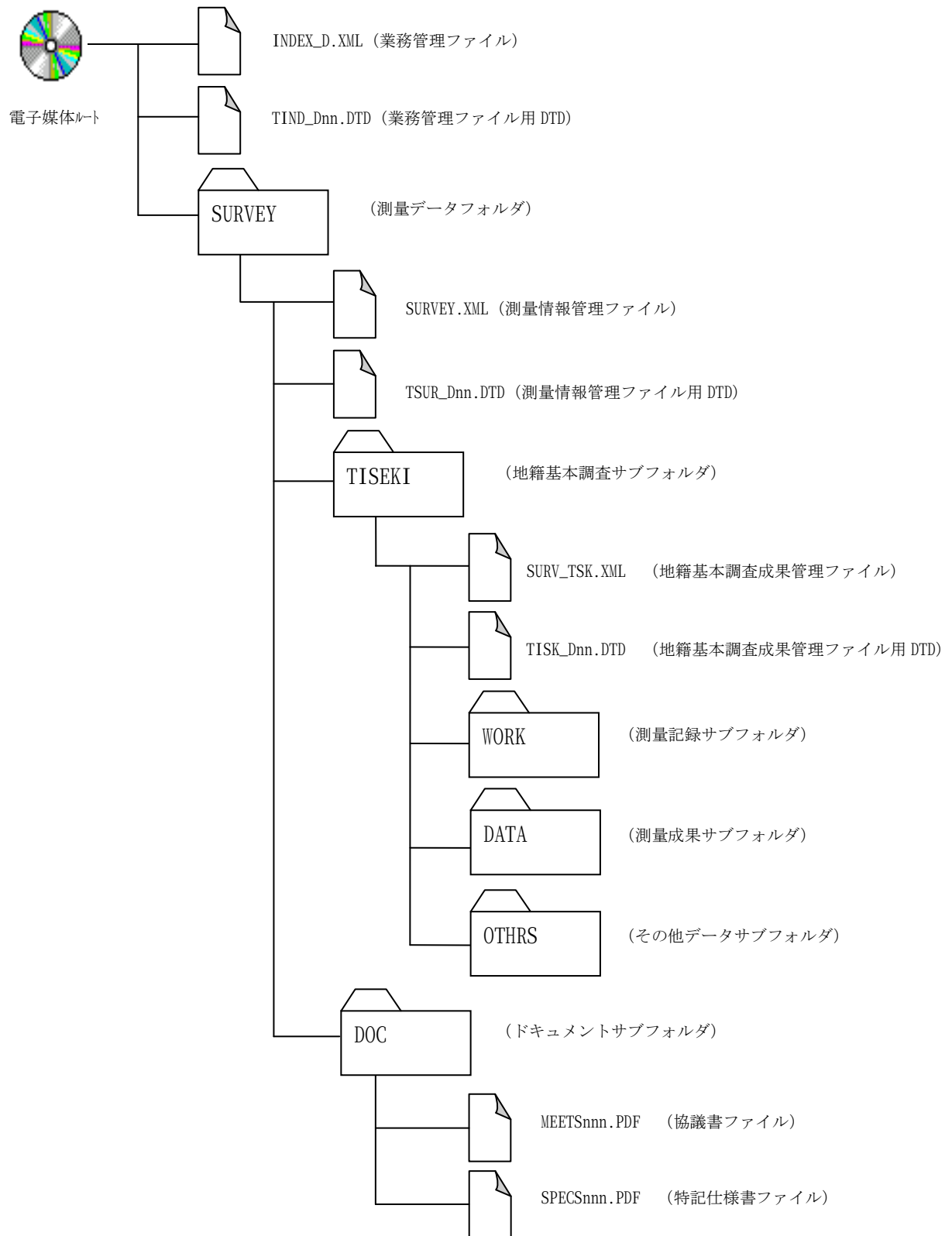


図 4-1 フォルダ全体構成図

4.2 地籍基本調査フォルダ構成

地籍基本調査の成果を格納するには次の「WORK」「DATA」「OTHS」のサブフォルダを置き、各々の成果等を格納する。

- ・「WORK」サブフォルダには地籍基本調査の記録(手簿、記簿等)を格納する。
- ・「DATA」サブフォルダには地籍基本調査の成果(成果表等)を格納する。
- ・「OTHS」サブフォルダには測量機器検定証明書、ファイル説明書等のデータを格納する。

さらに、「WORK」、「DATA」サブフォルダのその下には実施した作業工程に応じて、地籍基本調査細区分を示すサブフォルダを設け、成果を格納する。地籍基本調査細区分フォルダの名称は表 4-2（都市部官民境界基本調査）及び表 4-3（山村境界基本調査）に示す名称とする。格納する電子データファイルがないフォルダは作成しなくてもよい。

【解説】

測量成果格納フォルダ（「TISEKI」）の下に、地籍基本調査の作業工程で成果品を作成する過程の記録（手簿、記簿等）と、地籍基本調査の作業工程の最終成果品（成果表等）とに分類して格納するためのサブフォルダを作成し、各々の下に当該成果を格納する。

「WORK」「DATA」においては、各々、測量地区（地番区域ではない）および、精度区分に応じて成果等を整理する必要がある場合については、それぞれの細区分サブフォルダを設け当該成果を格納するものとする。これらのサブフォルダは、それぞれ表 4-2 又は表 4-3 に示す名称とする。なお、地籍基本調査成果がないサブフォルダは省略することができるものとする。

表 4-2（都市部官民境界基本調査）

測量区分	成果区分	地籍基本調査細区分	サブフォルダ名
地籍基本調査 <TISEKI>	測量記録 <WORK>	現地調査<EPROC_*>	/TISEKI /WORK/EPROC_*
		都市部官民境界基本三角測量 <CPROC_*>	/TISEKI /WORK/CPROC_*
		都市部官民境界基本多角測量 <DPROC_*>	/TISEKI /WORK/DPROC_*
		都市部官民境界基本細部測量 <F1PROC_*>	/TISEKI /WORK/F1PROC_*
		街区点測量<LPROC_*>	/TISEKI /WORK/LPROC_*
		復元測量<RPROC_*>	/TISEKI /WORK/RPROC_*
	測量成果 <DATA>	現地調査 <EPROC_*>	/TISEKI /DATA/EPROC_*
		都市部官民境界基本三角測量 <CPROC_*>	/TISEKI /DATA/CPROC_*
		都市部官民境界基本多角測量 <DPROC_*>	/TISEKI /DATA/DPROC_*
		都市部官民境界基本細部測量 <F1PROC_*>	/TISEKI /DATA/F1PROC_*
		街区点測量<LPROC_*>	/TISEKI /DATA/LPROC_*
		復元測量<RPROC_*>	/TISEKI /DATA/RPROC_*
		都市部官民境界基本調査図原図及び都 市部官民境界基本調査簿の作成 <F2PROC_*>	/TISEKI /DATA/F2PROC_*
	その他データ <OTHS>		/TISEKI /OTHS

注)「*」は各細区分に該当する作業を複数地区や複数の精度で実施した場合の識別記号を表し、地区数等に応じて A～Z ならびに 1～9 を適用する。1 地区 1 精度で実施した場合は「A」を適用する。

例えば地籍調査区分内で複数地区、複数精度区分の地籍調査作業を区分する場合、「CPROC_A～CPROC_Z、CPROC_1～CPROC_9」となる。

表 4-3 (山村境界基本調査)

測量区分	成果区分	地籍基本調査細区分	サブフォルダ名
地籍基本調査 <TISEKI>	測量記録 <WORK>	現地調査<EPROC_*>	/TISEKI /WORK/EPROC_*
		山村境界基本三角測量<CPROC_*>	/TISEKI /WORK/CPROC_*
		山村境界基本多角測量<DPROC_*>	/TISEKI /WORK/DPROC_*
		山村境界基本細部測量<F1PROC_*>	/TISEKI /WORK/F1PROC_*
		山村境界基本調査点測量 <F2PROC_*>	/TISEKI /WORK/F2PROC_*
	測量成果 <DATA>	現地調査<EPROC_*>	/TISEKI /DATA/EPROC_*
		山村境界基本三角測量<CPROC_*>	/TISEKI /DATA/CPROC_*
		山村境界基本多角測量<DPROC_*>	/TISEKI /DATA/DPROC_*
		山村境界基本細部測量<F1PROC_*>	/TISEKI /DATA/F1PROC_*
		山村境界基本調査点測量 山村境界基本調査図原図及び山村境界 基本調査簿の作成<F2PROC_*>	/TISEKI /DATA/F2PROC_*
	その他データ <OTHS>		/TISEKI /OTHS

注)「*」は各細区分に該当する作業を複数地区や複数の精度で実施した場合の識別記号を表し、地区数等に応じて A～Z ならびに 1～9 を適用する。1 地区 1 精度で実施した場合は「A」を適用する。

例えば地籍調査区分内で複数地区、複数精度区分の地籍調査作業を区分する場合、「CPROC_A～CPROC_Z、CPROC_1～CPROC_9」となる。

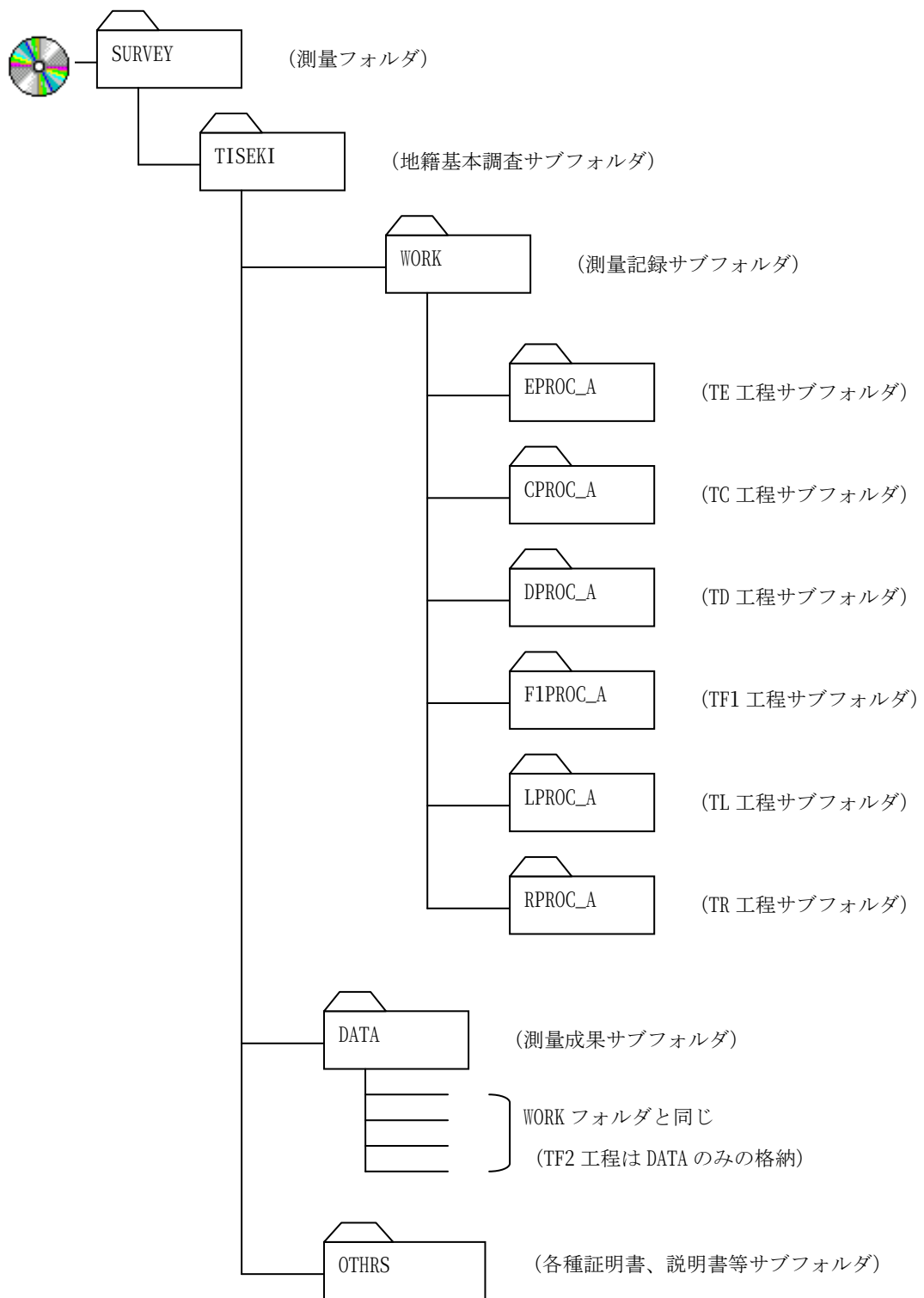


図 4-2 都市部官民境界基本調査フォルダ構成

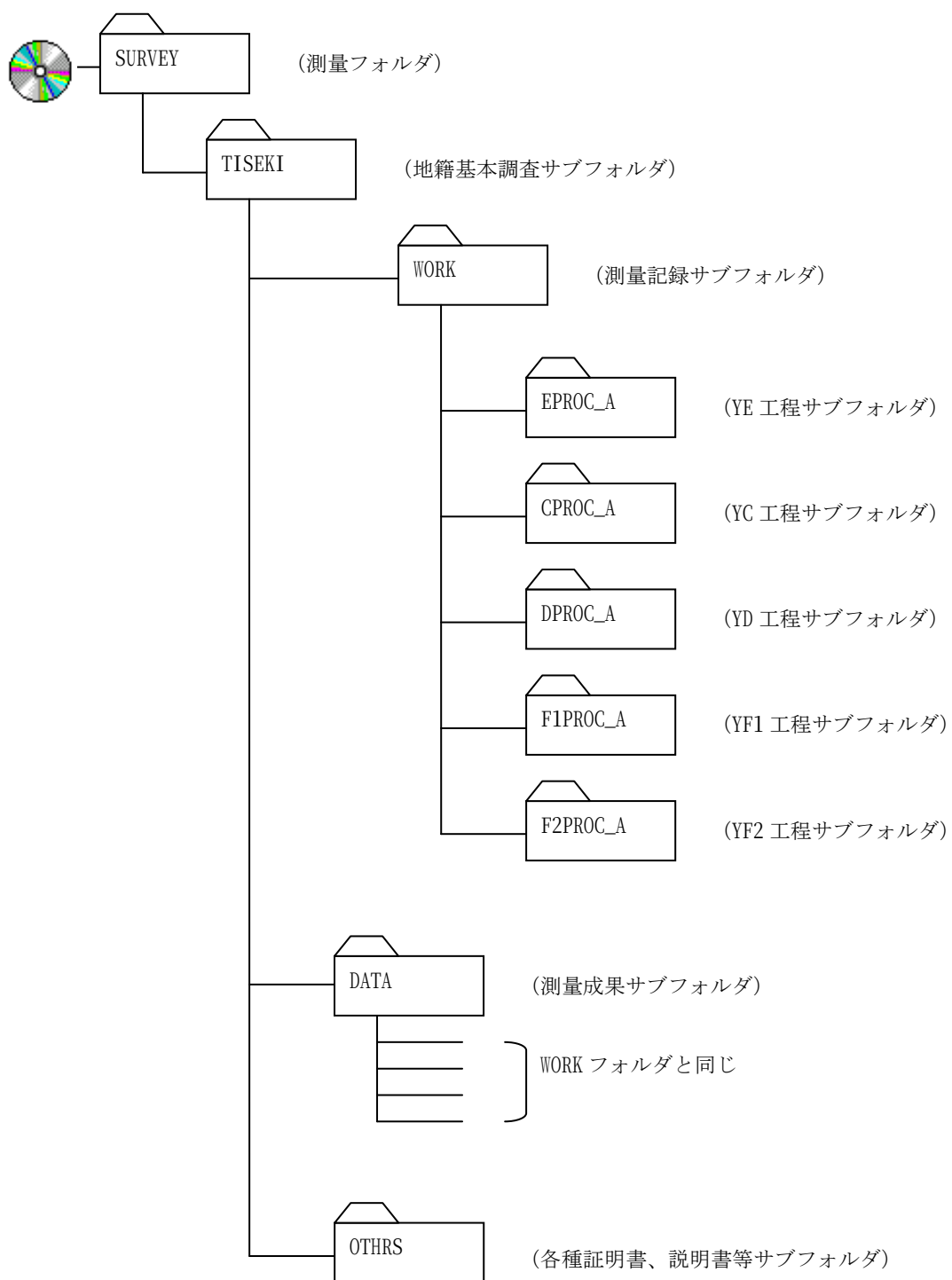


図 4-3 山村境界基本調査フォルダ構成

5 成果品の管理項目

5.1 測量情報管理項目

成果品の電子媒体に格納する測量情報管理ファイル（SURVEY.XML）に記入する測量情報管理項目は、表 5-1 に示すとおりである。

表 5-1 測量情報管理項目

カテゴリ	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度	
基礎情報	適用要領基準	電子成果品の作成で適用した要領の版（「都市 201304-01」又は「山村 201304-01」で固定）を記入する。	全角文字 半角英数字	30	▲	◎	
	助言番号(承認番号)	「99999999」を記入する。公共測量の届出を行なった場合は、国土地理院が発行する「助言番号（承認番号）」を記入する。	半角英数字	8	□	◎	
	製品仕様書名また作業規程名	当該測量の基となった製品仕様書または作業規程名を記入する。	全角文字 半角英数字	127	□	◎	
	第三者機関成果検定の有無	第三者機関による成果検定の実施の有無を、0又は1のコードで記入する。（0：なし、1：あり）	半角数字	1	□	◎	
	地籍基本調査成果格納用フォルダ名	地籍基本調査成果を格納するフォルダ名称（TISEKI で固定）を記入する。	半角英数 大文字	6 固定	▲	◎	
	ドキュメント格納用フォルダ名	ドキュメント類を格納するフォルダ名称（DOC で固定）を記入する。	半角英数 大文字	3 固定	▲	◎	
場所情報	測量区域番号	測量を行った区域の番号を記入する。	半角数字	2	□	◎	
	測量区域名	測量を行った区域の名称を記入する。	全角文字 半角英数	64	□	◎	
	区域情報	西側境界座標経度	対象領域または測量地域の最西端の座標を 経度で表す。 度(3桁)分(2桁)秒(2桁) 西経の場合は頭文字に -(HYPHEN-MINUS)を記入する。	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	8	□	△
		東側境界座標経度	対象領域または測量地域の最東端の座標を 経度で表す。 度(3桁)分(2桁)秒(2桁) 西経の場合は頭文字に -(HYPHEN-MINUS)を記入する。	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	8	□	△
		北側境界座標緯度	対象領域または測量地域の最北端の座標を 緯度で表す。 度(3桁)分(2桁)秒(2桁) 南経の場合は頭文字に -(HYPHEN-MINUS)を記入する。	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	8	□	△
		南側境界座標緯度	対象領域または測量地域の最南端の座標を 緯度で表す。 度(3桁)分(2桁)秒(2桁) 南経の場合は頭文字に -(HYPHEN-MINUS)を記入する。	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	8	□	△
		平面直角座標系	平面直角座標の系番号で記入する。	半角数字	2	□	△
		西側境界平面直角座標	輪郭線（図郭線）内の対象領域の最西端座標を Y 座標で記入する。（m）	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	11	□	△
		東側境界平面直角座標	輪郭線（図郭線）内の対象領域の最東端座標を Y 座標で記入する。（m）	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	11	□	△
		北側境界平面直角座標	輪郭線（図郭線）内の対象領域の最北端座標を X 座標で記入する。（m）	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	11	□	△

		南側境界平面直角座標	輪郭線（図郭線）内の対象領域の最南端座標を X 座標で記入する。（m）	半角数字 - (HYPHEN-MINUS)	11	□	△
測量情報	測量区分		本要領に規定する「測量区分」（地籍基本調査で固定）を記入する。	全角文字 半角英数字	32	▲	◎
	地籍基本調査細区分		本要領に規定する「地籍基本調査細区分」を記入する。	全角文字 半角英数字	70	□	◎
	地籍基本調査記録フォルダパス名		地籍基本調査記録のフォルダパス名を記入する。（SURVEY 以下のフォルダ区切りは「/」で表す。）	半角英数 大文字	64	□	△
	地籍基本調査成果フォルダパス名		地籍基本調査成果のフォルダパス名を記入する。（SURVEY 以下のフォルダ区切りは「/」で表す。）	半角英数 大文字	64	□	△
	その他データフォルダパス名		各種証明書、説明書等のフォルダパス名を記入する。（SURVEY 以下のフォルダ区切りは「/」で表す。）	半角英数 大文字	64	□	◎
	測量区域 No		場所情報に記された「測量区域番号」を記入する。（※測量区域番号に記されたものの中から選択する。DTD 文法上改名）	半角数字	2	□	◎
	精度		地籍基本調査成果の精度を記入する。	半角数字	1	□	◎
	新規修正区分		対象地籍基本調査の新規地籍基本調査か修正地籍基本調査かの区分を記入する。	半角数字	1	□	△
	面積		地籍基本調査範囲の概略の面積を記入する。単位：k m ²	半角数字	6	□	◎
	外周距離		地籍基本調査範囲の概算距離を記入する。概数単位：km	半角数字	6	□	△
	点数		基準点の点数を記入する。（与点の数は除く）	半角数字	4	□	△
その他	受注者説明文		受注者側で報告書に付けるコメントを記入する。	全角文字 半角英数字	127	□	△
	予備		その他予備事項があれば記入する。（複数記入可能）	全角文字 半角英数字	127	□	△
ソフトウェア用 TAG			ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。（複数記入可）	全角文字 半角英数字	64	▲	△

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字は、2 文字で全角文字 1 文字に相当する。

【記入者】 □：電子媒体作成者が記入する項目。

▲：電子媒体作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目。

【必要度】 ◎：必須記入項目。

△：任意記入項目。（情報が分かる場合は必ず記入する。）

【解説】

(1) 「助言番号」（承認番号）

地籍基本調査の場合は「99999999」（8 桁）を記入する。公共測量の届出を行なった場合は、国土地理院から発行された番号「助言番号（承認番号）」を記入する。文書番号から助言番号（承認番号）への記入方法は表 5-1-1 のとおりとする。

表 5-1-1 略称記号と助言番号（承認番号）の対象表

略称 記号	文書番号	名 称	略称 記号	文書番号	名 称
A	国地道公	北海道地方測量部	G	国地中公	中国地方測量部
B	国地東公	東北地方測量部	H	国地四公	四国地方測量部
C	国地関公	関東地方測量部	I	国地九公	九州地方測量部
D	国地北公	北陸地方測量部	J	国地沖公	沖縄支所
E	国地部公	中部地方測量部	K	企指公	企画部測量指導課
F	国地近公	近畿地方測量部			

例) 助言番号（承認番号）

国地道公発第 2 2 6 号

平成 24 年○ 月○ 日

平成 24 年度の北海道地方測量部の助言番号

→ H24A0226

(2) 製品仕様書名または作業規程名

当該地籍基本調査作業の基となった製品仕様書名または作業規程名を記入する。

(例:都市部官民境界基本調査作業規程準則(改定平成 23 年 1 月 19 日国土交通省令第 3 号))

(3) 第三者機関成果検定の有無

当該業務の第三者機関による成果検定の有無を、次より選択して記入する。

- ・ 第三者機関検定を実施しない場合： 0
- ・ 第三者機関検定を実施する場合： 1

(4) 場所情報（カテゴリ）

本地籍基本調査業務の対象となった地籍基本調査区域の数だけ繰り返して記入する。

(例：3 箇所が調査実施対象→3 回繰り返す)

1) 測量区域番号・測量区域名称

地籍基本調査区域が複数にわたる場合、実際に地籍基本調査を行った区域毎に区域番号を割当ててのものとする。割当てられた地籍基本調査区域毎に測量区域番号・測量区域名称及び区域情報について記入する。

2) 区域情報

区域情報については、「境界座標」、「平面直角座標値」のいずれかを用いて記入する。区域情報の記入にあたっては、上記 2 項目のうち「平面直角座標」による記入が最も望ましい。緯度経度もしくは平面直角座標のいずれか、または双方を記入する。また、平面直角座標系の系番号を記入する際は、半角数字 2 桁以内で 1～17 の番号を記入する。

(5) 測量情報（カテゴリ）

本地籍基本調査業務で行われた地籍基本調査種類を「地籍基本調査細区分」の単位（地籍基本調査実施場所が異なる場合は別物とする）で記入し、細区分の数だけ繰り返して記入する。

1) 測量区分

測量区分の名称は「地籍基本調査」を記入する。サブフォルダ名は「TISEKI」で

ある。

2) 地籍基本調査細区分

地籍基本調査細区分の名称は、下記の例に示すように細区分を示す英数字を付した名称を記入する。(4.2 地籍基本調査フォルダ構成を参照のこと)

地籍基本調査細区分は、地籍基本調査区域及び精度によってさらに区分するものとし、末尾の英数字は A～Z, 1～9 の順に使用することとして、該当する地籍基本調査細区分サブフォルダ名の末尾英数字と一致させることが望ましい。

例：複数区域 (A,B) および複数精度 (甲 1、甲 2) が混在する場合、地区を優先とする

CPROC_A A 地区の甲 1

CPROC_B A 地区の甲 2

CPROC_C B 地区の甲 1

CPROC_D B 地区の甲 2

3) 地籍基本調査記録フォルダパス名・地籍基本調査成果フォルダパス名

地籍基本調査成果が納められた測量記録フォルダ及び測量成果フォルダ以下のフォルダのパス名を記入する。当該地籍基本調査の成果が中間成果であって成果フォルダに格納されていない場合には記入しない。記入方法は以下に従う。

①フォルダ階層表示は「/」で区切る。

②パスの書出しは「SURVEY」とする。

③測量区分のサブフォルダのパス名は「TISEKI」とする。

④記録区分のサブフォルダのパス名は「WORK」、

成果区分のサブフォルダのパス名は「DATA」とする。

⑤細区分のサブフォルダパス名は、(例)「CPROC_A」とする。

※例 「SURVEY/TISEKI/WORK/CPROC_A」、「SURVEY/TISEKI/DATA/CPROC_A」

4) 精度

地籍基本調査の「精度」を必ず記入する。

ただし、都市部官民境界基本三角測量など精度が記入できない場合は「0」を記入する。精度の記入方法は表 5-1-2 のとおりとする。

表 5-1-2 精度表

地籍基本調査精度	記入コード
甲 1	1
甲 2	2
甲 3	3
乙 1	4
乙 2	5
乙 3	6

5) 新規修正区分

地籍基本調査を新規に実施地区の場合「1」、再調査をする場合「2」を記入する。

6) 面積

地籍基本調査の対象範囲の概略面積（実施数量）を記入する（単位は km^2 ）。

7) 外周距離

地籍基本調査範囲の概算距離を記入する。（単位は km ）

8) 点数

当該基準点の点数を記入する。（与点の数は除く）

5.2 地籍基本調査成果管理項目

成果品の電子媒体に格納する地籍基本調査成果管理ファイル（SURV_TSK.XML）に記入する地籍基本調査成果管理項目は、表 5-2 に示すとおりである。

表 5-2 地籍基本調査成果管理項目

カテゴリー	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度
地籍基本調査成果情報	地籍基本調査区分フォルダ名	「地籍基本調査区分」のフォルダ名を記入する。（格納サブフォルダ名）（TISEKI で固定）	半角英数 大文字	6 固定	▲	◎
	地籍基本調査成果区分フォルダ名	地籍基本調査成果区分（測量記録、成果データ）のフォルダ名を記入する。（格納サブフォルダ名）	半角英数 大文字	5	□	◎
	地籍基本調査細区分フォルダ名	表 4-2 及び表 4-3 で定義されたフォルダ名を記入する。（格納サブフォルダ名）	半角英数 大文字	8	□	△
	地籍基本調査成果名称	表 6-3 で定義された成果等の名称を記入する	全角文字 半角英数字	64	□	◎
	地籍基本調査成果ファイル形式	表 6-3 で定義された地籍基本調査成果ファイルの記録形式を記入する。	半角英数字	12	□	◎
	地籍基本調査成果レコードフォーマット	地籍基本調査成果ファイルのレコードフォーマットの名称や説明を記入する。	全角文字 半角英数字	64	□	△
	地籍基本調査成果作成ソフトウェア名	地籍基本調査成果を作成したソフトウェア名をバージョンを含めて記入する。	全角文字 半角英数字	64	□	△
	イ 成果情報 成果ファイル名 地籍基本調査成果 ファイル名副題	表 6-3 で定義された地籍基本調査成果のファイル名を、拡張子を含めて記入する。	半角英数 大文字	12	□	◎
その他	受注者説明文	受注者側で報告書に付けるコメントを記入する。	全角文字 半角英数字	127	□	△
	予備	その他予備事項があれば記入する。（複数記入可能）	全角文字 半角英数字	127	□	△
ソフトウェア用 TAG		ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。（複数記入可）	全角文字 半角英数字	64	▲	△

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字は、2 文字で全角文字 1 文字に相当する。

【記入者】 □：電子媒体作成者が記入する項目。

▲：電子媒体作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目。

【必要度】 ◎：必須記入項目。

△：任意記入項目。（情報が分かる場合は必ず記入する。）

【解説】

(1) 地籍基本調査成果情報（カテゴリ）

格納されている成果の種類の数だけ繰り返し記入する。また、項目名の成果ファイル情報については、成果の数だけ繰り返し記入する。

(2) 地籍基本調査区分フォルダ名

地籍基本調査区分のフォルダ名「TISEKI」を記入する。

(3) 地籍基本調査成果区分フォルダ名

地籍基本調査の成果区分の以下のサブフォルダ名を記入する

- ①「WORK」・・・ 成果品を作成する過程の記録を格納する。
 - ②「DATA」・・・ 最終成果品を格納する。
 - ③「OTHS」・・・ 証明書、説明書等を格納する。
- (4) 地籍基本調査細区分フォルダ名
- 細区分名称は表 4-2 又は表 4-3 のフォルダ構成に示す記録サブフォルダ名を記入する。
- 地籍基本調査の作業を区分けせず 1 つのサブフォルダで作成する場合は、「CPROC_A」、複数地区、複数精度区分の測量作業を区分する場合、「CPROC_A～CPROC_Z、CPROC_1～CPROC_9」となる。
- (5) 地籍基本調査成果名称
- 地籍基本調査成果の名称（表 6-3 を参照）を記入する。
- (6) 地籍基本調査成果ファイル形式・地籍基本調査成果レコードフォーマット
- 地籍基本調査成果ファイル形式（表 6-3 を参照）を記入する。地籍基本調査成果レコードフォーマットの名称または準拠した仕様等の説明を記入する。
- 『測量成果ファイル形式』:「PDF」「TXT」「DOC」等通常はファイルの拡張子を記入する。
- 『測量成果レコードフォーマット』: 特に説明を要するものについては、必ず記入する。なお、市販の広く流通したファイル形式のものについては省略することができる。
- (7) 地籍基本調査成果作成ソフトウェア名
- 地籍基本調査成果を作成したソフトウェア名のバージョンを含めて記入する。
- (8) 地籍基本調査成果ファイル名
- ファイル命名規則に従って付けた成果のファイル名を記入する。（拡張子含む）
- (9) 地籍基本調査成果ファイル名副題
- 成果ファイル個々について利用上副題をつけて管理することが望ましいものについて、成果の内容がわかる記述を行う。具体的な内容は受発注者間及び各市区町村担当職員（以下、「受発注者間等」という。）の協議により定める。

6 ファイル形式及びファイル命名規則

6.1 ファイル形式

ファイル形式は、以下のとおりとする。

(1) 業務管理ファイル及び各成果管理ファイル

業務管理ファイル、測量情報管理ファイル、及び測量成果管理ファイルのファイル形式は XML とする。

(2) 測量成果等

測量成果等のデータファイルの形式は、「6.3 地籍基本調査成果ファイル」に示すとおりとする。

(3) スタイルシート（任意）

管理ファイルのスタイルシートの作成は任意とするが、作成する場合は XSL に準ずる。

【解説】

- ・本要領「4 フォルダ構成」解説に示したように、業務管理ファイル、測量情報管理ファイル、及び地籍基本調査成果管理ファイルのファイル形式は XML とする。
- ・地籍基本調査成果等のファイル形式は、「6.3 地籍基本調査成果ファイル」において『表 6-3(a) TE・YE 工程成果のファイル形式・ファイル命名規則』から、『表 6-3(i) その他資料等のファイル形式・ファイル命名規則』に示される形式で納品する。
- ・各管理ファイルの閲覧性を高めるため、スタイルシート（任意）を用いてもよいが、XSL に準じて作成する。スタイルシートを作成した場合は、各管理ファイルと同じ場所に格納する。

6.2 地籍基本調査成果ファイル命名規則

ファイル名、拡張子は半角英数大文字とし、以下の各項目に従うものとする。

(1) 管理ファイル等

- 1) 測量情報管理ファイルは「SURVEY.XML」とし、測量情報管理ファイルの DTD は「TSUR_Dnn.DTD」(nn はバージョン番号を表す) とする。
- 2) 測量成果管理ファイルは、「SURV_TSK.XML」とする。地籍基本調査成果管理ファイルの DTD は「TISK_Dnn .DTD」(nn はバージョン番号を表す) とする。
- 3) 各管理ファイルのスタイルシート (任意) のファイル名は、「TSUR_Dnn .XSL」、「TISK_Dnn .XSL」(nn はバージョン番号を表す) とする。

(2) 測量成果等

地籍基本調査成果等のファイル名は以下の規則を原則とし、図 6-1 に従うものとする。

- 1) 図 6-1 の「○○○」部分には、地籍基本調査細区分毎に設定した記号 (表 6-1 参照) を入れる。表 6-1 の地籍基本調査細区分の記号の 3 文字目が「*」表現になっている部分は、通常「A」を入れる。複数地区や複数精度の場合、「B, C…Z, 1, …, 9」を順次使用する。
- 2) 図 6-1 の「▲▲」部分には、地籍基本調査成果の種類を表す名称 (表 6-3 参照) を入れる。先頭の▲には表 6-2 の設定記号を使い、後ろの▲にはその地籍基本調査細区分内での連番を割当てる。
- 3) 図 6-1 の「n n n」部分には、同一成果のファイル内で割り振った (001~999) 連番を入れる。

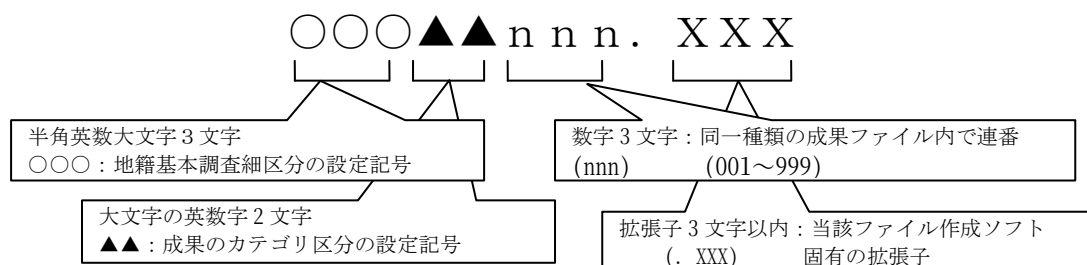


図 6-1 地籍基本調査成果ファイルの命名規則

注) ファイル名は、半角英数大文字で記述することを原則とする。ファイル名に使用できる文字は、半角 (1 バイト文字) で大文字のアルファベット「A~Z」、数字「0~9」、アンダースコア「_」のみとする。

表 6-1 地籍基本調査細区分記号一覧

地籍基本調査細区分	設定記号
現地調査	TE* YE*
都市部官民境界基本三角測量 山村境界基本三角測量	TC* YC*
都市部官民境界基本多角測量 山村境界基本多角測量	TD* YD*
都市部官民境界基本細部測量 山村境界基本細部測量	TF* YF*
街区点測量	TL*
復元測量	TR*
都市部官民境界基本調査図原図 及び都市部官民境界基本調査簿の作成	TF*
山村境界基本調査点測量 山村境界基本調査図原図 及び山村境界基本調査簿の作成	YF*

注) 都市部官民境界基本調査の作業は、設定記号の頭文字を「T」とし、山村境界基本調査の作業は、設定記号の頭文字を「Y」とする。

表 6-2 ファイル名設定記号のカテゴリ区分

成果のカテゴリ	成果等の名称	DATA,WORK 区分	設定記号
点の成果	基準点等成果簿写	WORK	A
	成果簿	DATA	
面の成果	基本調査簿	DATA	B
点の記	既知点点の記、選点手簿	WORK	C
手簿・記簿	埋標手簿、観測記録簿、観測手簿、観測記簿	WORK	D
計算簿類	距離補正計算書、偏心補正計算簿、点検計算簿、網平均計算簿、点検測量簿、座標計算書、与点の点検簿	WORK	E
網図・一覧図類	選点図、平均図、観測図、点検計算路線図、精度管理表附図、復元測量検討図	WORK	F
	網図、配置図、現地調査図、境界調査図、現地調査図一覧図、基本調査図原図、基本調査	DATA	

	図明細図、基本調査図一覧図、街区点測量図、 復元測量図		
精度管理表	精度管理表（点検測量精度管理表含む。）	WORK	G
説明書類	基準点現況調査報告書、 測量標の設置状況写真	WORK	H
その他	使用機器検定証明書・測量成果品検定証明書・ 試験検査成績書、使用プログラム検定証明書、 ファイル説明書、総括表	OTHR	J
上記カテゴリに 属さない成果等	観測スケジュール、受信状況図、建標承諾書 及び、表 6-3 に記載されていない成果等	WORK	Z
特記仕様書	特記仕様書	DOC	SPECS
協議書	協議書等	DOC	MEETS

6.3 地籍基本調査成果ファイル

地籍基本調査の成果は、表 6-3 に表示されるファイル形式、ファイル命名規則によって成果ファイルを作成するものとする。具体的な方法は運用基準によるものとする。

表 6-3(a)TE・YE 工程成果のファイル形式・ファイル命名規則

地籍基本 調査細区分	成果等の名称	ファイル 形 式	カテゴリ 設定記号	DATA WORK 区分	備考
現地調査 <TE*> <YE*>	現地調査図・境界調査図	PDF	F1	DATA	必要に応じて、 CAD 形式、Shape 形式も格納可。
	公図及びその他関連資料	PDF	Z1	WORK	登記簿要約書、 地積測量図等 必要に応じ、地 図 XML データも 格納

表 6-3(b)TC・YC 工程成果のファイル形式・ファイル命名規則

地籍基本 調査細区分	成果等の名称	ファイル 形 式	カテゴリ 設定記号	DATA WORK 区分	備考
都市部官民 境界基本三 角測量 <TC*> 山村境界基 本三角測量 <YC*>	基準点等成果簿（写）	PDF	A1	WORK	平均縮尺係数等 の計算書含む
	既知点点の記	PDF	C1	WORK	
	選点手簿	PDF	C2	WORK	
	基準点現況調査報告書	PDF	H1	WORK	
	選点図	PDF	F1	WORK	
	平均図	PDF	F2	WORK	
	観測図	PDF	F3	WORK	必要に応じて基 線解析図含む。
	観測記録簿	PDF	D1	WORK	
	観測手簿	PDF 及び観測 データ	D2	WORK	APA・SIMA 又は、 RINEX フォーマ ット
	観測記簿	PDF	D3	WORK	高度角補正計算 書含む。
	距離補正計算書	PDF	E1	WORK	
	偏心補正計算簿	PDF	E2	WORK	
	点検計算簿	PDF	E3	WORK	
	点検計算路線図	PDF	F4	WORK	
	網平均計算簿	PDF	E4	WORK	
	点検測量簿	PDF	E5	WORK	手簿・記簿
	受信状況図（＝カーテン情報）	PDF	Z1	WORK	
	観測スケジュール	PDF	Z2	WORK	
	精度管理表	PDF	G1	WORK	点検測量精度管 理表含む。

	精度管理表附図	PDF	F5	WORK	
	成果簿	PDF	A2	DATA	
	成果簿（数値データ）	TXT	A3	DATA	
	網図	SXF 及び PDF	F6	DATA	他の CAD 形式でも可
	測量標の設置状況写真	JPEG 又は PDF	H2	WORK	

表 6-3(c)TD・YD 工程成果のファイル形式・ファイル命名規則

地籍基本 調査細区分	成果等の名称	ファイル 形 式	カテゴリ 設定記号	DATA WORK 区分	備考
都市部官民 境界基本多 角測量 <TD*> 山村境界基 本多角測量 <YD*>	基準点等成果簿写	PDF	A1	WORK	平均縮尺係数等 の計算書含む
	既知点点の記	PDF	C1	WORK	
	選点手簿	PDF	C2	WORK	
	選点図	PDF	F1	WORK	
	平均図	PDF	F2	WORK	
	観測図	PDF	F3	WORK	必要に応じて基 線解析図含む。
	観測記録簿	PDF	D1	WORK	
	観測手簿	PDF 及び観測 データ	D2	WORK	APA・SIMA 又は、 RINEX フォーマ ット
	観測記簿	PDF	D3	WORK	高度角補正計算 書含む。
	距離補正計算書	PDF	E1	WORK	
	偏心補正計算簿	PDF	E2	WORK	
	点検計算簿	PDF	E3	WORK	
	点検計算路線図	PDF	F4	WORK	
	網平均計算簿	PDF	E4	WORK	
	点検測量簿	PDF	E5	WORK	手簿・記簿
	受信状況図（＝カーテン情報）	PDF	Z1	WORK	
	観測スケジュール	PDF	Z2	WORK	
	精度管理表	PDF	G1	WORK	点検測量精度管 理表含む。
	精度管理表附図	PDF	F5	WORK	
	成果簿	PDF	A2	DATA	
	成果簿（数値データ）	TXT	A3	DATA	

	網図	SXF 及び PDF	F6	DATA	他の CAD 形式でも可
	測量標の設置状況写真	JPEG 又は PDF	H1	WORK	

表 6-3(d)TF1・YF1 工程成果のファイル形式・ファイル命名規則

地籍基本 調査細区分	成果等の名称	ファイル 形 式	カテゴリ 設定記号	DATA WORK 区分	備考
都 市 部 官 民 境 界 基 本 細 部 測 量 <TF*> 山 村 境 界 基 本 細 部 測 量 <YF*>	基準点等成果簿（写）	PDF	A1	WORK	平均縮尺係数等の計算書含む
	既知点点の記	PDF	C1	WORK	
	選点図	PDF	F1	WORK	
	平均図	PDF	F2	WORK	
	観測図	PDF	F3	WORK	必要に応じて基線解析図含む。
	観測記録簿	PDF	D1	WORK	
	観測手簿	PDF 及び観測 データ	D2	WORK	APA・SIMA 又は、RINEX フォーマット
	観測記簿	PDF	D3	WORK	高度角補正計算書含む。
	距離補正計算書	PDF	E1	WORK	
	点検計算簿	PDF	E2	WORK	
	点検計算路線図	PDF	F4	WORK	
	座標計算書	PDF	E3	WORK	
	セット間較差の点検及び座標計算書	PDF	E4	WORK	
	網平均計算簿	PDF	E5	WORK	
	点検測量簿	PDF	E6	WORK	手簿・記簿
	受信状況図（＝カーテン情報）	PDF	Z1	WORK	
	観測スケジュール	PDF	Z2	WORK	
	精度管理表	PDF	G1	WORK	点検測量精度管理表含む。
	与点の点検簿	PDF	E7	WORK	
	精度管理表附図	PDF	F5	WORK	
	成果簿	PDF	A2	DATA	
	成果簿（数値データ）	TXT	A3	DATA	
	網図	SXF 及び PDF	F6	DATA	他の CAD 形式でも可

	配置図	SXF 及び PDF	F7	DATA	他の CAD 形式でも可
	測量標の設置状況写真	JPEG 又は PDF	H1	WORK	

表 6-3(e)TL 工程成果のファイル形式・ファイル命名規則

地籍基本 調査細区分	成果等の名称	ファイル 形 式	カテゴリ 設定記号	DATA WORK 区分	備考
街区点測量 (図上街区 点測量) <TL*>	図上街区点測量 観測手簿	PDF 及び観測 データ	D1	WORK	APA・SIMA 又は、RINEX フォーマット
	図上街区点測量 観測記簿	PDF	D2	WORK	
	図上街区点測量 距離補正計算書	PDF	E1	WORK	
	図上街区点測量 座標計算書	PDF	E2	WORK	
	図上街区点測量 セット間較差の点検及び座標計算書	PDF	E3	WORK	
	図上街区点測量 与点の点検簿	PDF	E4	WORK	
	図上街区点測量 精度管理表	PDF	G1	WORK	
	街区点測量図	SXF	F1	DATA	他の CAD 形式でも可

表 6-3(f)TR 工程成果のファイル形式・ファイル命名規則

地籍基本 調査細区分	成果等の名称	ファイル 形 式	カテゴリ 設定記号	DATA WORK 区分	備考
復元測量 <TR*>	復元測量成果簿	PDF	A1	DATA	
	復元測量成果簿 (数値データ)	TXT	A2	DATA	
	復元測量検討図	SXF	F1	WORK	他の CAD 形式でも可
	精度管理表	PDF	G1	WORK	
	復元測量図	SXF	F2	DATA	

表 6-3(g)TF2 工程成果のファイル形式・ファイル命名規則

地籍基本 調査細区分	成果等の名称	ファイル 形 式	カテゴリ 設定記号	DATA WORK 区分	備考
都市部官民 境界基本調 査図原図及 び都市部官 民境界基本 調査簿の作 成<TF*>	基本調査図原図	SXF 及び PDF	F1	DATA	他の CAD 形式でも可 背景データについては、画像形式での格納も可。
	基本調査簿	PDF	B1	DATA	

	基本調査図明細図	SXF 及び PDF	F2	DATA	他の CAD 形式でも可 背景データについては、画像形式での格納も可。
	基本調査図一覧図	SXF 及び PDF	F3	DATA	他の CAD 形式でも可

表 6-3(h) YF2 工程成果のファイル形式・ファイル命名規則

地籍基本 調査細区分	成果等の名称	ファイル 形 式	カテゴリ 設定記号	DATA WORK 区分	備考
山村境界基本調査点測量・山村境界基本調査図原図及び山村境界基本調査簿の作成 <YF*>	選点図	PDF	F1	WORK	
	平均図	PDF	F2	WORK	
	観測図	PDF	F3	WORK	
	観測記録簿	PDF	D1	WORK	
	観測手簿	PDF 及び観測 データ	D2	WORK	APA・SIMA 又は、RINEX フォーマット
	観測記録簿	PDF	D3	WORK	
	距離補正計算書	PDF	E1	WORK	
	点検計算簿	PDF	E2	WORK	
	座標計算書	PDF	E3	WORK	
	セット間較差の点検及び座標計算書	PDF	E4	WORK	
	網平均計算簿	PDF	E5	WORK	
	受信状況図 (=カーテン情報)	PDF	Z1	WORK	
	観測スケジュール	PDF	Z2	WORK	
	精度管理表	PDF	G1	WORK	
	成果簿	PDF	A1	DATA	
	成果簿 (数値データ)	TXT	A2	DATA	
	基本調査図原図	SXF 及び PDF	F4	DATA	他の CAD 形式でも可 背景データについては、画像形式での格納も可。
	基本調査簿	PDF	B1	DATA	
	基本調査図明細図	SXF 及び PDF	F5	DATA	他の CAD 形式でも可 背景データについては、画像形式での格納も可。

	基本調査図一覧図	SXF 及び PDF	F6	DATA	他の CAD 形式でも可
--	----------	------------------	----	------	--------------

表 6-3(i) その他資料等のファイル形式・ファイル命名規則

地籍基本 調査細区分	成果等の名称	ファイル 形 式	カテゴリ 設定記号	DATA WORK 区分	備考
その他 <TOT>	使用機器検定証明書・ 試験検査成績書	PDF	J1	OTHS	
	使用プログラム検定証明書	PDF	J2	OTHS	
	検査成績表	PDF	J3	OTHS	
	ファイル説明書（注 1）	PDF	J4	OTHS	
	測量成果品検定証明書	PDF	J5	OTHS	
	総括表	PDF	J6	OTHS	

注 1 ・ファイル説明書

電子媒体の全体のフォルダ構成、格納場所を記録すること。

(※) ファイル形式の補足説明

(*1)XML eXtensible Markup Language(拡張型構造化記述言語)

文字列をタグと呼ばれる<>で括った予約語で囲み、文書の整形や他文書へのリンクを記述する。文書の構造を DTD というファイルに定義することで、表現方法の指定や文書中の文字列に意味を付加する独自のタグを拡張定義できることに特徴がある。

(*2)DTD Document Type Definitions(文書型定義)

XML 文書を構成する要素が現れる場所、順序、出現回数などの文書構造を定義する仕組みである。

(*3)XSL eXtensible Stylesheet Language(エクセスエスエル)

XML 文書の書式（体裁）を指定するスタイルシートを提供する仕様であり、「標準仕様書 TSX0088:2006 拡張可能なスタイルシート(XSL)1.1」、「JIS X 4169:2007XSL 交換 (XSLT) 1.0」の規格である。

(*4)PDF Portable Document Format(ピーディーエフ)

米 Adobe Systems Incorporated が開発したドキュメント・ビューア・ソフト Acrobat で、表示・印刷できるファイル形式である。Acrobat は、ドキュメントを作成した環境と別の環境(異なる機種、OS)との間におけるドキュメント交換を可能にするものである。

(*5)JPEG Joint Photographic Experts Group (ジェイペグ)

扱われる静止画像のデジタルデータを圧縮する方式のひとつ。またはそれをつくった組織 (ISO/IEC JTC 1/SC 29/WG 1、Joint Photographic Experts Group) の略称。

(*6) SXF Scadec data eXchange Format(エスエックスエフ)

(財) 日本建設情報総合センター (JACIC) が組織した、CAD データ交換標準開発コンソーシアム (SCADEC) により策定された、STEP AP202(製品モデルとの関連を持つ図面)規格を実装した CAD データ交換標準である。

ISO10303/TC184/SC4(STEP 規格を審議する国際会議)にて、STEP 規格を実装したものであることが認知されている。SXF の物理ファイルには、国際標準に則った p21(Part21)形式、国内 CAD データ交換のための sfc 形式 2 種類がある。

本要領案で記述しているファイル形式の SXF とは、CAD データの納品フォーマットを国際標準に則った Part21 形式のことである。

(*7) APA・SIMA

APA フォーマットとも呼ばれており、現場システムと事務所システム間で座標データ、測量観測 (対回) データを交換する際の通信方法とその内容を (財) 日本測量調査技術協会 (APA) が定め、平成 11 年に (社) 日本測量機器工業会へ管理が移管されている。近年、このデータ形式をそのまま利用し、通信ではなくファイルに保管してやり取りされることも多くなってきている。

(*8) RINEX

一般に GPS 受信機は機種が異なると観測データの記録形式や内容が異なるために相互にデータを交換して解析することが困難です。そこで考えだされたのが RINEX であり、RINEX とは、異なる GPS 受信機で観測された GPS データを相互に交換するための標準フォーマットのことである。

【運用基準】

(各成果共通事項)

- 1) ファイルは、1 ファイル 100 枚単位または成果種別毎に作成し、図の成果ファイルは、図単位または図の種別単位で作成する。
- 2) 表 6-3(a)～(h)に記載されていない測量記録、資料等は各工程毎に所定の方法により当該工程 WORK フォルダに格納する。

(現地調査)

- 1) 現地調査図・境界調査図は PDF 形式で納品する。必要に応じて PDF 形式に加え、CAD 形式、Shape 形式も格納できる。PDF 形式以外のファイル名については、PDF 形式の最終ファイル名の後の番号を連番にて付与する。

例：TEAF1001.PDF～TEAF1010.PDF、TEAF1011.拡張子～TEAF1020.拡張子

- 2) 公図及びその他関連資料は PDF で納品する。必要に応じ、地図 XML データも格納できるものとする。
- 3) 表 6-3 (a) に記載されていない測量記録、測量成果、資料等については、ファイル名を「TE*Z*nnn. 拡張子」に即して付け、WORK サブフォルダに格納する。ファイル形式は受発注者間等の協議により決定する。

(都市部官民境界基本三角測量・山村境界基本三角測量)

- 1) 基準点等成果簿写・既知点点の記・選点手簿・基準点現況調査報告書・選点図・平均図・観測図・観測記録簿・観測記簿（高度角補正計算書含む）・距離補正計算書・偏心補正計算簿・点検計算簿・点検計算路線図・網平均計算簿・点検測量簿・受信状況図（＝カーテン情報）・観測スケジュール・精度管理表（点検測量精度管理表含む）・精度管理表附図は、PDF 形式で納品する。
- 2) 観測手簿は、PDF 形式に加えて APA・SIMA または RINEX フォーマット形式で納品する。PDF 形式以外のファイル名については、PDF 形式の最終ファイル名の後の番号を連番にて付与する。
例：TCAD2001.PDF～TCAD2010.PDF、TCAD2011.拡張子～TCAD2020.拡張子
- 3) 成果簿については、PDF 形式で納品するほか、数値データを TXT 形式で納品する。TXT 形式は、付属資料 3 の「地籍基本調査成果簿出力フォーマット」を参照とする。成果簿数値データは、次数種別等適当な単位にまとめてファイルを作成する。
- 4) 網図は、SXF (p21) 及び PDF 形式で納品する。また受発注者間等の協議により他の CAD 形式で納品することができる。ファイル名については、SXF(p21)形式もしくは他の CAD 形式の最終ファイル名の後の番号に、PDF 形式を連番にて付与する。
例：TCAF6001.P21～TCAF6010.P21、TCAF6011.PDF～TCAF6020.PDF
- 5) 測量標の設置状況写真は、JPEG 又は PDF 形式で納品する。
- 6) 表 6-3(b)に記載されていない測量記録、測量成果、資料等については、ファイル名を「TC*Z*nnn.拡張子」に即して付け、WORK サブフォルダに格納する。ファイル形式は受発注者間等の協議により決定する。

(都市部官民境界基本多角測量・山村境界基本多角測量)

- 1) 基準点等成果簿写・既知点点の記・選点手簿・選点図・平均図・観測図・観測記録簿・観測記簿（高度角補正計算書含む）・距離補正計算書・偏心補正計算簿・点検計算簿・点検計算路線図・網平均計算簿・点検測量簿・受信状況図（＝カーテン情報）・観測スケジュール・精度管理表（点検測量精度管理表含む）・精度管理表附図は PDF 形式で納品する。
- 2) 観測手簿は、PDF 形式に加えて APA・SIMA または RINEX フォーマット形式で納品する。PDF 形式以外のファイル名については、PDF 形式の最終ファイル名の後の番号を連番にて付与する。
例：TDAD2001.PDF～TDAD2010.PDF、TDAD2011.拡張子～TDAD2020.拡張子
- 3) 成果簿については、PDF 形式で納品するほか、数値データを TXT 形式で納品する。TXT 形式は、付属資料 3 の「地籍基本調査成果簿出力フォーマット」を参照とする。多角点成果簿数値データは、次数種別等適当な単位にまとめてファイルを作成する。
- 4) 網図は、SXF (p21) 及び PDF 形式で納品する。また受発注者間等の協議により他の CAD 形式で納品することができる。ファイル名については、SXF(p21)形式もしくは他の CAD 形式の最終ファイル名の後の番号に、PDF 形式を連番にて付与する。

例：TDAF6001.P21～TDAF6010.P21、TDAF6011.PDF～TDAF6020.PDF

- 5) 測量標の設置状況写真は、JPEG 又は PDF 形式で納品する。
- 6) 表 6-3(c)に記載されていない測量記録、測量成果、資料等については、ファイル名を「TD*Z*nnn.拡張子」に則して付け、WORK サブフォルダに格納する。ファイル形式は受発注者間等の協議により決定する。

(都市部官民境界基本細部測量・山村境界基本細部測量)

- 1) 基準点等成果簿写・既知点点の記・選点図・平均図・観測図・観測記録簿・観測記録簿・距離補正計算書・点検計算簿・点検計算路線図・座標計算書・セット間較差の点検及び座標計算簿・網平均計算簿・点検測量簿・受信状況図（＝カーテン情報）・観測スケジュール・与点の点検簿、精度管理表（点検測量精度管理表含む）・精度管理表附図は PDF 形式で納品する。
- 2) 観測手簿は、PDF 形式に加えて APA・SIMA または RINEX フォーマット形式で納品する。PDF 形式以外のファイル名については、PDF 形式の最終ファイル名の後の番号を連番にて付与する。

例：TFAD2001.PDF～TFAD2010.PDF、TFAD2011.拡張子～TFAD2020.拡張子

- 3) 成果簿については、PDF 形式で納品するほか、数値データを TXT 形式で納品する。TXT 形式は、付属資料 3 の「地籍基本調査成果簿出力フォーマット」を参照とする。細部点成果簿数値データは、次数種別等適当な単位にまとめてファイルを作成する。
- 4) 網図、配置図は、SXF（p21）及び PDF 形式で納品する。また受発注者間等の協議により他の CAD 形式で納品することもできる。ファイル名については、SXF(p21)形式もしくは他の CAD 形式の最終ファイル名の後の番号に、PDF 形式を連番にて付与する。

例：TFAF6001.P21～TFAF6010.P21、TFAF6011.PDF～TFAF6020.PDF

- 5) 測量標の設置状況写真は、JPEG または PDF 形式で納品する。
- 6) 表 6-3（d）に記載されていない測量記録、測量成果、資料等については、ファイル名を「TF*Z*nnn. 拡張子」に則して付け、WORK サブフォルダに格納する。ファイル形式は受発注者間等の協議により決定する。

(街区点測量)

- 1) 観測手簿は、PDF 形式に加えて APA・SIMA または RINEX フォーマット形式で納品する。また受発注者間等の協議により PDF 形式に加えてオリジナル数値データを納品することができる。PDF 形式以外のファイル名については、PDF 形式の最終ファイル名の後の番号を連番にて付与する。

例：TLAD1001.PDF～TLAD1010.PDF、TLAD1011.拡張子～TLAD1020.拡張子

- 2) 観測記録簿・距離補正計算書・座標計算書・セット間較差の点検及び座標計算簿・与点の点検簿、精度管理表は、PDF 形式で納品する。
- 3) 街区測量図、は、SXF（p21）で納品する。また受発注者間等の協議により他の CAD 形式で納品することができる。
- 4) 表 6-3（e）に記載されていない測量記録、測量成果、資料等については、ファイル

名を「TL*Z*nnn. 拡張子」に則して付け、WORK サブフォルダに格納する。ファイル形式は受発注者間等の協議により決定する。

(復元測量)

- 1) 成果簿については、PDF 形式で納品するほか、数値データを TXT 形式で納品する。TXT 形式は、付属資料 3 の「地籍基本調査成果簿出力フォーマット」を参照とする。復元測量成果簿数値データは、種別等適当な単位でまとめて作成する。
- 2) 観測手簿を納品する場合の納品方法については、受発注者間等の協議により決定する。
- 3) 復元測量検討図、復元測量図は、SXF (p21) で納品する。また受発注者間等の協議により他の CAD 形式で納品することもできる。
- 4) 精度管理表は、PDF 形式で納品する。
- 5) 表 6-3 (f) に記載されていない測量記録、測量成果、資料等については、ファイル名を「TR*Z*nnn. 拡張子」に則して付け、WORK サブフォルダに格納する。ファイル形式は受発注者間等の協議により決定する。

(山村境界基本調査点測量)

- 1) 選点図・平均図・観測図・観測記録簿・観測記簿・距離補正計算書・点検計算簿・座標計算書・セット間較差の点検及び座標計算簿・網平均計算簿・受信状況図 (=カーテン情報)・観測スケジュール・精度管理表は PDF 形式で納品する。
- 2) 観測手簿は、PDF 形式に加えて APA・SIMA または RINEX フォーマット形式で納品する。また受発注者間等の協議により PDF 形式に加えてオリジナル数値データを納品することができる。PDF 形式以外のファイル名については、PDF 形式の最終ファイル名の後の番号を連番にて付与する。
例：YFAD2001.PDF～YFAD2010.PDF、YFAD2011.拡張子～YFAD2020.拡張子
- 3) 成果簿については、PDF 形式で納品するほか、数値データを TXT 形式で納品する。TXT 形式は、付属資料 3 の「地籍基本調査成果簿出力フォーマット」を参照とする。数値データは、種別等適当な単位でまとめて作成する。
- 4) 表 6-3 (h) に記載されていない測量記録、測量成果、資料等については、ファイル名を「YF*Z*nnn. 拡張子」に則して付け、WORK サブフォルダに格納する。ファイル形式は受発注者間等の協議により決定する。

(基本調査図原図及び基本調査簿の作成)

- 1) 基本調査図原図、基本調査図明細図、基本調査図一覧図は、SXF (p21) 及び PDF 形式で納品する。また受発注者間等の協議により他の CAD 形式で納品することができる。ファイル名については、SXF(p21)形式もしくは他の CAD 形式の最終ファイル名の後の番号に、PDF 形式を連番にて付与する。
例：TFAF1001.P21～TFAF1010.P21、TFAF1011.PDF～TFAF1020.PDF
背景データについては、画像形式で格納することもできる。

- 2) 基本調査簿は、PDF 形式で納品する。

【留意事項】

①各成果品のデータ作成については、利用方法により以下の形式で作成する。

(1) PDF 形式

納品後の主たる利用方法が閲覧である成果は PDF 形式とする。

PDF 形式のファイルを主として以下のいずれかの方法で作成する。

1) アナログ資料のスキャニング

元資料が手書き資料・検符済み等の紙媒体である場合は、スキャニングにより電子化し、PDF 形式で保存する。スキャニングの解像度は 200dpi 以上、白黒 2 値を標準とし、文字が識別できるものとする。ただし、図面については、白黒の場合は白黒 2 値、色があるものについてはフルカラーを原則とする。

尺度が図中に記載されていない場合、また表記されている尺度とスキャニングの尺度が異なる場合は、図中にスキャニング時の尺度を明記すること。

2) オリジナルソフトウェアで出力可能な成果品の場合

測量設計 CAD ソフトウェアやワープロ、表計算ソフトウェアで作成した成果品については、印刷機能などにより Acrobat 等を利用して PDF に変換することを原則とする。

(2) 数値データ (TXT 形式)

成果簿や、他の測量作業の入力データとして利用される成果等は、数値データ (TXT 形式) とする。数値データのフォーマットは、本電子納品要領に規定しているのでこれに準じる。規定されていない成果の数値データについては、受発注者間等で十分協議の上決定し、データ仕様ファイル説明書 (PDF 形式) を別途作成し成果品データと合わせて納品する。

(3) CAD 形式

網図等の成果は、受発注者間等の協議により SXF(p21)以外の CAD 形式とすることができる。納品する CAD 形式の使用については受発注者間等の協議により決定し、必要に応じてデータの仕様等を説明したファイル説明書 (PDF 形式) を作成の上、成果品データと併せて納品する。納品する CAD 形式については、CAD における標準フォーマットが規定されるまで、受発注者間等で十分協議し、CAD のフォーマットを決めること。

(4) オリジナル形式

ソフトウェアの固有性が高い測量機器等のデータや、ワープロ、表計算ソフトを利用して作成されている成果については、受発注者間等の協議によりファイル形式を特定の上、オリジナルのファイル形式とすることができる。オリジナル形式で納品する場合は、必要に応じてファイル形式、レコードフォーマット等を説明したファイル説明書 (PDF 形式) を作成し、成果品データと併せて納品する。

(5) その他の形式

関係団体が推奨しているファイル形式とする場合は、ファイル形式を特定の上、作成することができる。ただし、下記に記載するファイル形式のほか、可能な限り汎用

性のあるファイル形式とする。

例) ・TS 観測手簿における APA-SIMA

(日本測量調査技術協会、日本測量機器工業会)

・GPS 観測手簿における RINEX

②既存地図を利用する時のファイル作成時における注意事項

既存地図を測量成果に使用した場合は、ファイル説明書に出所を明記すること。

例) 「国土地理院発行の 1 /25,000 の地形図を都市部官民境界基本細部測量の
選点図に一部使用した」

7 その他留意事項

7.1 電子納品の対象外となる成果等

地籍基本調査成果のうち、電子化が困難な以下の成果は電子納品の「対象外」とする。

例) 電子化が困難なもの

- ・ネガフィルム
- ・密着印画

7.2 測地系

本要領で扱う測地系は、世界測地系とする。

【解説】

測量法改正（平成 13 年 6 月 20 日）によって、平成 14 年 4 月 1 日から測量法に従って行われる測量は、新しい測地系（世界測地系）に準拠して行うこととなった。

このため、地籍基本調査の成果の電子納品に適用される本要領では、新しい測地系（世界測地系）に準拠した地籍基本調査成果の納品を義務付けるものである。

付属資料 1

1-1 測量情報管理ファイルの DTD 例 (ファイル名:TSUR_Dnn.DTD) nn は版情報

```
<!--TSUR_D01.DTD/2013/04-->
```

```
<!ELEMENT SURVEY (基礎情報,場所情報+,測量情報+,その他?,ソフトメーカ用 TAG*)>
```

```
<!ATTLIST SURVEY DTD_version CDATA #FIXED "01">
```

```
<!-- ***** -->
```

```
<!--                基礎情報                -->
```

```
<!-- ***** -->
```

```
<!ELEMENT 基礎情報 (適用要領基準,助言番号,製品仕様書名または作業規程名, 第三者機関成果検定の有無,地籍基本  
調査成果格納用フォルダ名,ドキュメント格納用フォルダ名)>
```

```
<!ELEMENT 適用要領基準 (#PCDATA)>
```

```
<!ELEMENT 助言番号 (#PCDATA)>
```

```
<!ELEMENT 製品仕様書名または作業規程名 (#PCDATA)>
```

```
<!ELEMENT 第三者機関成果検定の有無 (#PCDATA)>
```

```
<!ELEMENT 地籍基本調査成果格納用フォルダ名 (#PCDATA)>
```

```
<!ELEMENT ドキュメント格納用フォルダ名 (#PCDATA)>
```

```
<!-- ***** _->
```

```
<!--                場所情報                -->
```

```
<!-- ***** _->
```

```
<!ELEMENT 場所情報 (測量区域番号,測量区域名,区域情報)>
```

```
<!ELEMENT 測量区域番号 (#PCDATA)>
```

```
<!ELEMENT 測量区域名 (#PCDATA)>
```

```
<!-- ***** _->
```

```
<!--                区域情報                -->
```

```
<!-- ***** _->
```

```
<!ELEMENT 区域情報 (西側境界座標経度?,東側境界座標経度?,北側境界座標緯度?,南側境界座標緯度?,平面直角座標  
系?,西側境界平面直角座標?,東側境界平面直角座標?,北側境界平面直角座標?,南側境界平面直角座標?)>
```

```
<!ELEMENT 西側境界座標経度 (#PCDATA)>
```

```
<!ELEMENT 東側境界座標経度 (#PCDATA)>
```

```
<!ELEMENT 北側境界座標緯度 (#PCDATA)>
```

<!ELEMENT 南側境界平面直角座標 (#PCDATA)>

<!ELEMENT 点数 (#PCDATA)>

<!ELEMENT ソフトメーカー用 TAG (#PCDATA)>

1-2 地籍基本調査成果管理ファイルの DTD 例（ファイル名：TISK_Dnn.DTD） nn は版情報

```
<!-- TISK_D01.DTD/2013/04-->

<!ELEMENT SURV_DATA (地籍基本調査成果情報+,その他?,ソフトメーカー用TAG*)>

<!ATTLIST SURV_DATA DTD_version CDATA #FIXED "01">


<!-- ***** -->
<!--                地籍基本調査成果情報                                -->
<!-- ***** -->

<!ELEMENT 地籍基本調査成果情報 (地籍基本調査区分フォルダ名,地籍基本調査成果区分フォルダ名,地籍基本調査細区
分フォルダ名?,地籍基本調査成果名称,地籍基本調査成果ファイル形式,地籍基本調査成果レコードフォーマット?,地籍
基本調査成果作成ソフトウェア名?,成果ファイル情報+)>


<!ELEMENT 地籍基本調査区分フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 地籍基本調査成果区分フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 地籍基本調査細区分フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 地籍基本調査成果名称 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 地籍基本調査成果ファイル形式 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 地籍基本調査成果レコードフォーマット (#PCDATA)>
<!ELEMENT 地籍基本調査成果作成ソフトウェア名 (#PCDATA)>


<!-- ***** -->
<!--                成果ファイル情報                                -->
<!-- ***** -->

<!ELEMENT 成果ファイル情報 (地籍基本調査成果ファイル名,地籍基本調査成果ファイル名副題?)>
<!ELEMENT 地籍基本調査成果ファイル名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 地籍基本調査成果ファイル名副題 (#PCDATA)>


<!-- ***** -->
<!--                その他                                -->
<!-- ***** -->

<!ELEMENT その他 (受注者説明文?,予備*)>


<!ELEMENT 受注者説明文 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 予備 (#PCDATA)>


<!ELEMENT ソフトメーカー用TAG (#PCDATA)>
```

付属資料 2

2-1 測量情報管理ファイルの XML 例

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<!DOCTYPE SURVEY SYSTEM "TSUR_D01.DTD">
<?xml-stylesheet type="text/xsl" href="TSUR_D01.XSL"?>
<SURVEY DTD_version="01">
  <基礎情報>
    <適用要領基準>都市 201304-01</適用要領基準>
    <助言番号>99999999</助言番号>
    <製品仕様書名または作業規程名>都市部官民境界基本調査作業規程</製品仕様書名または作業規程名>
    <第三者機関成果検定の有無>1</第三者機関成果検定の有無>
    <地籍基本調査成果格納用フォルダ名>TISEKI</地籍基本調査成果格納用フォルダ名>
    <ドキュメント格納用フォルダ名>DOC</ドキュメント格納用フォルダ名>
  </基礎情報>
  <場所情報>
    <測量区域番号>1</測量区域番号>
    <測量区域名>〇〇県〇〇市の一部地区</測量区域名>
    <区域情報>
      <西側境界座標経度>86000</西側境界座標経度>
      <東側境界座標経度>87600</東側境界座標経度>
      <北側境界座標緯度>-184200</北側境界座標緯度>
      <南側境界座標緯度>-186000</南側境界座標緯度>
      <平面直角座標系>6</平面直角座標系>
      <西側境界平面直角座標></西側境界平面直角座標>
      <東側境界平面直角座標></東側境界平面直角座標>
      <北側境界平面直角座標></北側境界平面直角座標>
      <南側境界平面直角座標></南側境界平面直角座標>
    </区域情報>
  </場所情報>
  <測量情報>
    <測量区分>地籍基本調査</測量区分>
    <地籍基本調査細区分>都市部官民境界基本三角測量</地籍基本調査細区分>
    <地籍基本調査記録フォルダパス名>SURVEY/TISEKI/WORK/CPROC_A</地籍基本調査記録フォルダパス名>
    <地籍基本調査成果フォルダパス名>SURVEY/TISEKI/DATA/CPROC_A</地籍基本調査成果フォルダパス名>
    <その他データフォルダパス名>SURVEY/TISEKI/OTHR</その他データフォルダパス名>
    <測量区域 No>1</測量区域 No>
    <精度>0</精度>
```

<新規修正区分>1</新規修正区分>
<面積>0.08</面積>
<外周距離>2.8</外周距離>
<点数>4</点数>
</測量情報>
<測量情報>
<測量区分>地籍基本調査</測量区分>
<地籍基本調査細区分>都市部官民境界基本多角測量(都市部)</地籍基本調査細区分>
<地籍基本調査記録フォルダパス名>SURVEY/TISEKI/WORK/DPROC_A</地籍基本調査記録フォルダパス名>
<地籍基本調査成果フォルダパス名>SURVEY/TISEKI/DATA/DPROC_A</地籍基本調査成果フォルダパス名>
<その他データフォルダパス名>SURVEY/TISEKI/OTHR</その他データフォルダパス名>
<測量区域 No>1</測量区域 No>
<精度>1</精度>
<新規修正区分>1</新規修正区分>
<面積>0.08</面積>
<外周距離>2.8</外周距離>
<点数>32</点数>
</測量情報>
<ソフトメーカー用 TAG><http://www.abcdefghijk.co.jp></ソフトメーカー用 TAG>
<ソフトメーカー用 TAG>株式会社〇〇〇〇〇〇</ソフトメーカー用 TAG>
</SURVEY>

2-2 地籍基本調査成果管理ファイルのXML例

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<?xml-stylesheet type="text/xsl" href="TISK_D01.XSL"?>
<!DOCTYPE SURV_DATA SYSTEM "TISK_D01.DTD">
<SURV_DATA DTD_version="01">
  <地籍基本調査成果情報>
    <地籍基本調査区分フォルダ名>TISEKI</地籍基本調査区分フォルダ名>
    <地籍基本調査成果区分フォルダ名>WORK</地籍基本調査成果区分フォルダ名>
    <地籍基本調査細区分フォルダ名>CPROC_A</地籍基本調査細区分フォルダ名>
    <地籍基本調査成果名称>観測手簿</地籍基本調査成果名称>
    <地籍基本調査成果ファイル形式>PDF</地籍基本調査成果ファイル形式>
    <地籍基本調査成果レコードフォーマット></地籍基本調査成果レコードフォーマット>
    <地籍基本調査成果作成ソフトウェア名>Adobe Acrobat 8.0</地籍基本調査成果作成ソフトウェア名>
    <成果ファイル情報>
      <地籍基本調査成果ファイル名>TCAD2001.PDF</地籍基本調査成果ファイル名>
      <地籍基本調査成果ファイル名副題>観測手簿_1</地籍基本調査成果ファイル名副題>
    </成果ファイル情報>
    <成果ファイル情報>
      <地籍基本調査成果ファイル名>TCAD2002.PDF</地籍基本調査成果ファイル名>
      <地籍基本調査成果ファイル名副題>観測手簿_2</地籍基本調査成果ファイル名副題>
    </成果ファイル情報>
  </地籍基本調査成果情報>
  <地籍基本調査成果情報>
    <地籍基本調査区分フォルダ名>TISEKI</地籍基本調査区分フォルダ名>
    <地籍基本調査成果区分フォルダ名>WORK</地籍基本調査成果区分フォルダ名>
    <地籍基本調査細区分フォルダ名>CPROC_A</地籍基本調査細区分フォルダ名>
    <地籍基本調査成果名称>観測手簿</地籍基本調査成果名称>
    <地籍基本調査成果ファイル形式>APA</地籍基本調査成果ファイル形式>
    <地籍基本調査成果レコードフォーマット></地籍基本調査成果レコードフォーマット>
    <地籍基本調査成果作成ソフトウェア名></地籍基本調査成果作成ソフトウェア名>
    <成果ファイル情報>
      <地籍基本調査成果ファイル名>TCAD2003.APA</地籍基本調査成果ファイル名>
      <地籍基本調査成果ファイル名副題>観測データ_1</地籍基本調査成果ファイル名副題>
    </成果ファイル情報>
    <成果ファイル情報>
      <地籍基本調査成果ファイル名>TCAD2004.APA</地籍基本調査成果ファイル名>
      <地籍基本調査成果ファイル名副題>観測データ_2</地籍基本調査成果ファイル名副題>
    </成果ファイル情報>
  </地籍基本調査成果情報>
```

<地籍基本調査成果情報>

<地籍基本調査区分フォルダ名>TISEKI</地籍基本調査区分フォルダ名>

<地籍基本調査成果区分フォルダ名>DATA</地籍基本調査成果区分フォルダ名>

<地籍基本調査細区分フォルダ名>CPROC_A</地籍基本調査細区分フォルダ名>

<地籍基本調査成果名称>成果簿</地籍基本調査成果名称>

<地籍基本調査成果ファイル形式>PDF</地籍基本調査成果ファイル形式>

<地籍基本調査成果レコードフォーマット></地籍基本調査成果レコードフォーマット>

<地籍基本調査成果作成ソフトウェア名> Adobe Acrobat 8.0</地籍基本調査成果作成ソフトウェア名>

<成果ファイル情報>

<地籍基本調査成果ファイル名>TCAA2001.PDF</地籍基本調査成果ファイル名>

<地籍基本調査成果ファイル名副題>成果簿</地籍基本調査成果ファイル名副題>

</成果ファイル情報>

</地籍基本調査成果情報>

<地籍基本調査成果情報>

<地籍基本調査区分フォルダ名>TISEKI</地籍基本調査区分フォルダ名>

<地籍基本調査成果区分フォルダ名>DATA</地籍基本調査成果区分フォルダ名>

<地籍基本調査細区分フォルダ名>CPROC_A</地籍基本調査細区分フォルダ名>

<地籍基本調査成果名称>成果簿（数値データ）</地籍基本調査成果名称>

<地籍基本調査成果ファイル形式>TXT</地籍基本調査成果ファイル形式>

<地籍基本調査成果レコードフォーマット></地籍基本調査成果レコードフォーマット>

<地籍基本調査成果作成ソフトウェア名></地籍基本調査成果作成ソフトウェア名>

<成果ファイル情報>

<地籍基本調査成果ファイル名>TCAA3001.TXT</地籍基本調査成果ファイル名>

<地籍基本調査成果ファイル名副題>成果簿（数値データ）</地籍基本調査成果ファイル名副題>

</成果ファイル情報>

</地籍基本調査成果情報>

<その他>

<受注者説明文></受注者説明文>

<予備></予備>

</その他>

<ソフトメーカー用 TAG>http://www.abcdefghijkl.co.jp</ソフトメーカー用 TAG>

<ソフトメーカー用 TAG>株式会社〇〇〇〇〇</ソフトメーカー用 TAG>

</SURV_DATA>

付属資料 3

3-1 地籍基本調査成果簿出力フォーマット

(1) 地籍基本調査成果簿出力フォーマット基本構造

- 1) 成果簿出力フォーマットは、1 行 1 レコードのテキストファイルとする。
- 2) 文字コードは、ASCII コード、漢字コードはシフト JIS コードとする。
- 3) 成果表出力フォーマットのファイルは、拡張子を ”TXT” とする。
- 4) レコードの記述方法
- 5) 新点のみの作成とする。

データ区分	区切り	項目 1	区切り	・・・	項目 n	区切り	CRLF
-------	-----	------	-----	-----	------	-----	------

データ区分	・その行のデータの種類を表す記号。この情報は省略できない。 ・1 文字目が英字で 2，3 文字目が数字の 3 文字とする。
区切り	・各データの項目は、“,”（カンマ）によって区切るものとする。
項目 1 ～項目 n	・項目を省略する場合は“,”とする。 ・データ区分に応じて項目数は変わり、次ページ以降の記載通りとする。
CRLF	・各行の終了コード (0D0Ah) で、各行の最大長は、CRLF を含まず、128 バイトとする。

【成果簿出力フォーマット注意事項】

- ①名称・コメントなど、文字として認識するデータには、“,”（カンマ）を使用しないこととする。また、数字データにも“,”（カンマ）を使用しないこととする。
- ②名称、コメント以外のデータは、半角文字とする。
- ③点名が「M⁴M111-1」の場合は、数値データでは、「M04M04111-1」とすること。

(2) 地籍基本調査成果簿フォーマット

1) コメントデータ（コメントを示すデータ）

Z00, コメント, フォーマット識別子, バージョン, CRLF

Z00	コメントを示すデータ区分。	省略不可
コメント	桁数の制限はしない。	省略可
フォーマット 識別子	本フォーマットの種類を記載する。識別子の表記は下記のとおりの。(整数 1 桁) 0：地籍基本調査成果フォーマット	省略不可
バージョン	本フォーマットのバージョンを記述する。バージョン表記はマイナーチェンジを考慮して小数点形式とし、	省略不可

	整数 2 桁、小数点以下 2 桁の 5 桁表記とする。(01.00 に固定)	
--	---	--

2) タイトルデータ（業務のタイトル名を示すデータ）

Z01, タイトル, CRLF

Z01	タイトルを示すデータ区分。	省略不可
タイトル	桁数の制限はしない。	省略可

3) 測地系データ（測地系を示すデータ）

Z02, 測地系, 座標系, CRLF

Z02	測地系を示すデータ区分。	省略不可
測地系	0：世界測地系	省略不可
座標系	平面直角座標系	省略不可

4) 座標出力開始データ（座標データの出力開始を示すデータ）

A00, CRLF

A00	座標データの出力開始を示すデータ区分。	省略不可
-----	---------------------	------

5) 座標データ（点の座標を示すデータ）

A01, 点番号, 点名称, 緯度, 経度, X 座標, Y 座標, 座標系, 標高, ジオイド高, CRLF

A01	座標データを示すデータ区分。	省略不可
点番号	5 桁以内の整数とする。	省略不可
点名称	40 バイト以下	省略不可
緯度, 経度	緯度は、小数点型式 (DD ° .MM ' SS " SSSS) とし、秒以下 4 桁までとする。 経度は、小数点型式 (DDD ° .MM ' SS " SSSS) とし、秒以下 4 桁までとする。	省略不可 ただし、X, Y 座標の記載がある場合は省略可。
X, Y	小数点形式、m 単位とし、m 以下 3 桁まで記載する。	省略不可 ただし、緯度、経度の記載が有る場合は省略可。
座標系	平面直角座標系	省略不可
標高	小数点形式、m 単位とし、m 以下 3 桁まで記載する。	省略可 ただし、都市部及び山村境界

		基本三角点、多角点は省略不可。
ジオイド高	小数点形式、m単位とし、m以下3桁まで記載する。	省略可

6) 属性データ（点の属性を示すデータ）

A02, 種別, 次数, 縮尺係数, 真北方向角, 標識, 測定方式, 材質, 精度区分, 兼用点名, CRLF

A02	属性データを示すデータ区分。	省略不可
種別	16：都市部官民境界基本三角点、19：山村境界基本三角点、17：都市部官民境界基本多角点、20：山村境界基本多角点、18：都市部官民境界基本細部点、21：山村境界基本細部点、30：図上街区点及び特定図上街区点、31：山村境界基本調査点、32：山村境界基本補助点	省略不可
次数	2桁の整数とする。 21～22：1次～2次 都市部官民境界基本三角点 山村境界基本三角点 31～33：1次～3次 都市部官民境界基本多角点 山村境界基本多角点 41～42：1次～2次（放射点含む） 都市部官民境界基本細部点 山村境界基本細部点	省略不可 ただし、図上街区点及び特定図上街区点・山村境界調査点及び補助点は省略。
縮尺係数	小数点形式、小数点以下6桁までとする。	省略可 ただし、都市部及び山村境界基本三角点は省略不可。
真北方向角	小数点形式(DD° . MM' SS" Sないし、- DD° . MM' SS" S)とし、秒以下1桁までとする。	省略可
標識	1：非埋標、2：永久標識、3：その他、4：一時標識	省略不可
測定方式	1：地上法、2：GPS法、3：その他 ※ここに記述している地上法とは、TS測量による地上法であり、GPS法とは、GPS測量による地上法のことである。	省略不可
材質	1：金属標、2：鋳、3：プラスチック、4：コンクリート、	省略可

	5：真鍮、6：アルミプレート、7：石、8：刻印、9：木 10：ペンキ、11：マンホール利用、12：その他、0：不明	
精度区分	1：甲1、2：甲2、3：甲3、 4：乙1、5：乙2、6：乙3	省略不可 ただし、都市部及び山村境界基本三角点は省略可
兼用点名	当該点が都市部官民境界基本多角点等を兼ねた場合の都市部官民境界基本多角点等の点名。(街区点の場合のみ)。山村境界基本多角点等についても同様とする。	省略可

7) 視準数データ（視準成果の方向数を示すデータ）・・・

都市部官民境界基本三角点及び山村境界基本三角点のみ

A03, 方向数, CRLF

A03	視準成果の方向数を示すデータ区分。	省略可
方向数	2桁以内の整数とする。 (方向が無い場合は0を入れる。)	省略不可

視準成果がない(方向数=0)場合は、視準(A04)レコードを省略可。

8) 視準数データ（点の視準成果を示すデータ）・・・

都市部官民境界基本三角点及び山村境界基本三角点のみ

A04, 点番号, 点名称, 等級(次数), 平均方向角, 距離, 備考, 観測日 CRLF

A04	視準成果データを示すデータ区分。	省略可
点番号	5桁以内の整数とする。	省略不可
点名称	40バイト以下	省略不可
等級(次数)	2桁の整数とする。 10：電子基準点 11～14：1等～4等 21～22：1級～2級 (都市部官民境界基本三角点・山村境界基本三角点・街区三角点・地籍図根三角点は2級基準点と同様とする。)	省略不可
平均方向角	平均方向角は、小数点形式(DD° . MM' SS" S)とし、秒以下1桁まで記載する。	省略不可
距離	小数点形式、m単位とし、m以下3桁まで記載する。	省略不可
備考	桁数の制限は行わず、各社システムに取り込む際、有効桁数に調整する。	省略可
観測日	形式(YYYYMMDD：年月日)	省略可

	観測が複数日にわたる場合は、観測初日を記載する。	
--	--------------------------	--

9) 座標出力終了データ（座標データの出力終了を示すデータ）

A99, CRLF

A99	座標データの出力終了を示すデータ区分。	省略不可
-----	---------------------	------

10) 都市部官民境界基本三角測量成果の数値ファイルの記録例

Z00,SEIKA_Ver.1,0,01.00,
Z01,平成 22 年度〇〇県〇〇市の一部都市部官民境界基本三角測量成果,
Z02,0,7,
A00,
A01,00267,N12,36.28571333,136.28465883,53758.106,-61562.453,07,7.136,37.383,
A02,16,22,0.999947,0.24307,2,2,,3,,
A03,1,
A04,1,A211,22,171.44142,184.255,,20110217,
A01,00263,L23,36.28078173,136.28380912,52239.599,-61784.820,07,4.517,37.424,
A02,16,22,0.999947,0.24353,2,2,,1,,
A03,1,
A04,5,L26,22,146.33070,276.514,,20110217,
A01,00001,A211,36.28512241,136.28477043,53575.773,-61535.975,07,7.774,37.391,
A02,16,22,0.999947,0.24300,2,2,,1,,
A03,1,
A04,267,N12,22,351.44141,184.255,,20110217,
A99,

11) 都市部官民境界基本多角測量成果の数値ファイルの記録例

Z00,SEIKA_Ver.1,0,01.00,
Z01,平成 22 年度〇〇県〇〇市の一部都市部官民境界基本多角測量成果,
Z02,0,7,
A00,
A01,00871,B-1,35.46261279,140.01113162,-25066.100,16859.609,9,28.771,36.630,
A02,2,32,0.999904,,2,1,1,1,,
A01,00872,B-3,35.46229579,140.01069154,-25164.003,16749.270,9,29.248,36.624,
A02,2,32,0.999903,,2,1,1,1,,
A01,00873,B-6,35.46187951,140.01000912,-25292.612,16578.124,9,28.712,36.616,
A02,2,32,0.999903,,2,1,1,1,,
A01,00878,B-9,35.46154758,140.00579714,-25395.006,16525.078,9,28.416,36.607,
A02,2,32,0.999903,,2,1,1,1,,
A01,00874,B-17,35.46045729,140.00546580,-25731.163,16442.483,9,28.518,36.576,
A02,2,32,0.999903,,2,1,1,1,,
A01,00870,B-2,35.46235652,140.01118098,-25145.053,16872.156,9,29.123,36.622,
A02,2,32,0.999904,,2,1,1,1,,
A01,00877,B-4,35.46214794,140.01106024,-25209.391,16841.955,9,29.045,36.616,
A02,2,32,0.999903,,2,1,1,1,,
A01,00875,B-19,35.45588708,140.01047311,-25906.417,16695.811,9,29.544,36.551,
A02,2,32,0.999903,,2,1,1,1,,

A01,00879,B-20,35.45582029,140.01077823,-25926.855,16772.488,9,28.929,36.547,
A02,2,32,0.999903,,2,1,1,1,,
A99,

12) 都市部官民境界基本細部測量成果の数値ファイルの記録例

Z00,SEIKA_Ver.1,0,01.00,
Z01, 平成 22 年度〇〇県〇〇市の一部都市部官民境界基本細部測量成果,
Z02,0,7,
A00,
A01,01441,QP-401-01,,, -166334.619,-39908.504,6,,,
A02,18,41,,,3,1,2,1,,
A01,01442,QP-401-02,,, -166343.286,-39973.153,6,,,
A02,18,41,,,3,1,2,1,,
A01,01443,QP-401-03,,, -166355.424,-40046.898,6,,,
A02,18,41,,,3,1,2,1,,
A01,01444,QP-401-04,,, -166360.786,-40082.178,6,,,
A02,18,41,,,3,1,2,1,,
A01,01445,QP-401-05,,, -166351.955,-40114.444,6,,,
A02,18,41,,,3,1,2,1,,
A01,01446,QP-401-06,,, -166373.771,-40163.481,6,,,
A02,18,41,,,3,1,2,1,,
A01,01447,QP-401-07,,, -166380.750,-40205.705,6,,,
A02,18,41,,,3,1,2,1,,
A01,01448,PP-402-01,,, -166386.924,-40312.704,6,,,
A02,18,41,,,3,1,2,1,,
A01,01449,PP-402-02,,, -166414.644,-40369.760,6,,,
A02,18,41,,,3,1,2,1,,
A01,01450,PP-402-03,,, -166458.665,-40366.263,6,,,
A02,18,41,,,3,1,2,1,,
A01,01451,PP-402-04,,, -166525.183,-40350.073,6,,,
A02,18,41,,,3,1,2,1,,
A01,01452,PP-402-05,,, -166582.807,-40343.651,6,,,
A02,18,41,,,3,1,2,1,,
A01,01453,QQ-403-01,,, -166727.357,-39817.483,6,,,
A02,18,41,,,3,1,2,1,,
A01,01454,QQ-403-02,,, -166711.385,-39746.067,6,,,
A02,18,41,,,3,1,2,1,,
A01,01455,QQ-403-03,,, -166689.983,-39677.893,6,,,
A02,18,41,,,3,1,2,1,,
A99,

13) 街区点・調査点成果の数値ファイルの記録例

Z00,SEIKA_Ver.1,0,01.00,
Z01, 平成 22 年度〇〇県〇〇市の一部都市部官民境界基本調査業務街区点・調査点成果,
Z02,0,7,
A00,
A01,01001,T-K1001,,, -186320.390,-80612.661,6,,,
A02,30,,,,3,1,,1,,

A01,01002,T-K1003,,,-186332.689,-80627.612,6,,,
A02,30,,,3,1,,1,,
A01,01003,T-K1002,,,-186332.260,-80627.748,6,,,
A02,30,,,3,1,,1,,
A01,01004,T-K1009,,,-186350.116,-80639.921,6,,,
A02,30,,,3,1,,1,,
A01,1005,T-K1016,,,-186355.376,-80639.196,6,,,
A02,30,,,3,1,,1,,
A01,01006,T-K1015,,,-186354.375,-80626.942,6,,,
A02,30,,,3,1,,1,,
A01,01007,T-K1027,,,-186366.895,-80608.927,6,,,
A02,30,,,3,1,,1,,
A99,